

平成 24 年度 初芝富田林中学校高等学校 学校評価

はじめに

平成 23 年度の学校評価をふまえ、平成 24 年度は、生徒や保護者のみなさまに「本校に入学してよかった、入学させてよかった」と言ってもらえるよう、①「生徒ひとり一人の進路実現のために授業内容の改善に努めること」と②「生徒が達成感のあるより豊かな学校生活を送られるよう部活動や学校行事の充実」を重点目標に設定し、学校全体で改善・改革に取り組みました。

平成 24 年度も、生徒による「授業評価アンケート」を 2 回（7 月と 12 月）実施し、その集計結果とそれをもとに授業担当者が作成した「メッセージ一覧表」を教室に掲示し、生徒と教員と一緒に授業内容について点検しました。また、「教育活動に関する保護者アンケート」は、12 月に平成 23 年度と同一項目で実施し、その結果と分析を 1 月末に文書にて保護者のみなさまに報告しました。これらのアンケート結果と 12 月に実施した「教職員自己評価アンケート」の結果および日頃の取り組みなどを検証し、平成 24 年度の学校評価をまとめましたので報告します。

【1】平成 24 年度の概要

- ☆ 中学 1 年生が 123 人（4 クラス）入学し、中学校全体で 12 クラス、377 人となりました。高校 1 年生は 319 人（8 クラス）が入学し、高校全体で 23 クラス、840 人となりました。
- ☆ クラブ活動は、平成 24 年度新たに理科部と英語部を創部し、中学校運動部 7、高校運動部 8、中高文化部 14 になりました。顕著な活躍としては、高校軟式野球部が第 57 回全国高等学校軟式野球選手権大会に大阪代表として 4 年連続 5 回目の出場を果たしました。
- ☆ 平成 23 年度から始まった高校 1 年生の希望者を対象とした英国への短期留学「オックスフォード大学体験学習」も 2 回目となり、3 月 24 日（日）～4 月 2 日（火）の 10 日間、41 人が参加しました。現地でのプログラムはディスカッション、プレゼンテーションを中心としたアウトプット重視の英語研修を取り入れ、ひとり一人が地球的視野の中で、自らのキャリア像を考え、引き出せるよう改善しました。また、「コミュニケーション力アップ」「英会話力アップ」「プレゼンテーション力アップ」をテーマとした事前研修と事後研修を行いました。
- ☆ 平成 26 年度に高校が創立 30 周年を迎えます。その節目に記念事業を実施することにより、本校の教育を振り返りさらに発展、充実を図る予定です。平成 25 年度より創立 30 周年記念事業実行委員会を発足させ、準備に取り掛かりました。

【2】平成 24 年度の重点目標の達成状況

「生徒ひとり一人の進路実現のために授業内容の改善に努めること」について

まず、生徒対象の授業評価アンケートにおいて、各授業に関する共通設問項目として「授業内容に満足している（主にレベルや理解度の観点で）」を設定しました。

次に、「教育活動に関する保護者アンケート」において「わが子は授業内容に満足して

いる」と「教職員は授業を改善し、わかる授業、力のつく授業の工夫をしている」を設定しました。

これらの生徒アンケートと保護者アンケートの結果をみると、本校の授業内容に一定の評価がいただけたと考えられます。平成 25 年度はもっと多くの生徒のみなさんに「授業がよく分かる、だから学校へ行くのが楽しい」といってもらえるよう、また、保護者のみなさまにも満足していただけるよう、校内外の研修に積極的に取り組みたいと思います。

「生徒が達成感のあるより豊かな学校生活を送られるよう部活動や学校行事の充実」について

「教育活動に関する保護者アンケート」において、「部活動や生徒活動が活発に行われている」と「学校行事（文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している」の設問に対する「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な評価の割合は、平成 23 年度より上昇し高い評価をいただきました。これは、生徒のみなさんが中心となり主体的に部活動や文化祭に取り組んだ成果だと思えます。

【3】保護者アンケートと改善状況

「教育活動に関する保護者アンケート」の設問項目は 20 項目を用意しました。

中学校では平成 23 年度と比べますと、これら 20 項目のうち、「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な評価の割合が 80%以上の設問項目は 4 項目増加し 13 項目になり、逆に 79%以下の項目は 4 項目減りました。

肯定的な評価の割合が平成 23 年度から 5 ポイント以上上昇した設問は、「学校行事（文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している」、「わが子は、学校のことを誇りにしている」、「将来を考える、進路意識を高める指導がなされている」、「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がなされている」の 4 項目でした。

とくに、設問項目「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がなされている」に対しては、肯定的な評価が前年度より 8 ポイント上昇しました。これはキャリア教育として、総合学習の時間に「職業研究」と「大学学部学科研究」をテーマに、調べ学習や卒業生による「先輩の話を聞く会」、保護者の方や企業からの「出前授業」を実施した結果だと考えられます。平成 25 年度も、もっと満足していただけるよう工夫しキャリア教育に取り組めます。

肯定的な評価が 90%以上であった項目は次の通りです。

- ・「わが子を入学させてよかったと思う」 92%
- ・「教職員は、生徒のことをよく考えて指導している」 91%
- ・「挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導がなされている」 91%
- ・「学校行事（文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している」 93%
- ・「教職員は、お互いに協力して学校運営に取り組んでいる」 91%

高校では、肯定的な評価の割合が 80%以上の設問項目数は 9 個へと増加しました。80%以上であった項目は次の通りです。

- ・「わが子を入学させてよかったと思う」 89%
- ・「教職員は、生徒のことをよく考えて指導している」 89%
- ・「生徒同士がお互いを認め合い、豊かな心の育成ができています」 81%

- ・「挨拶や時間厳守など、社会に通用する指導がされている」93%
- ・「進路に関する情報を的確に伝え、きめ細やかな指導がされている」82%
- ・「将来を考える、進路意識を高める指導がされている」81%
- ・「保護者への連絡や、情報公開は適切に行われている」80%
- ・「保護者懇談会（三者懇談会）は満足できるものである」84%
- ・「教職員は、お互いに協力して学校運営に取り組んでいる」84%

とくに、「部活動や生徒活動が活発に行われている」の肯定的な評価の割合は7ポイントも上昇しました。平成24年度は、「理科部」「英語部」を創部し、徐々に活動も軌道に乗ってきました。文化祭も4回目となり文化祭実行委員会を中心に、より生徒主体に運営されたのが高評価に繋がったと思われます。

中学校・高校とも全体的には本校教育に対して一定の評価をいただいていることがわかりました。

逆に、肯定的な評価の割合がほぼ横ばい状況の項目は中学校と高校で共通しており、「わが子は、悩みや困ったことを教職員に気軽に相談できている」と「施設・設備が整っている」の2項目でした。

「わが子は、悩みや困ったことを教職員に気軽に相談できている」に対する肯定的な評価の割合は、緩やかな上昇傾向に留まっています。平成25年度においては、普段からの声かけや相談への真摯な対応など生徒との信頼関係を築くこと、話しかけやすい態度や機会を設け相談しやすい環境をつくること、清掃時間やホームルーム活動などでもっと生徒と関わる時間を持つことなど引き続き改善に努めます。また、スクールカウンセラーが生徒や保護者のみなさんを心理面から助言、サポートしています。進路や学習、友人関係などのいろいろな場面での生徒の悩みや相談、子育てに関する保護者へのアドバイスなどを行っています。

「施設・設備が整っている」に対する肯定的な評価の割合は低く、平成24年度は、体育館の床を滑りにくく適度なクッション性、抗菌性を備えたタラフレックススポーツフロアに全面改修しました。今後とも安全点検に心がけ、安心して学校生活を送れるよう施設・設備の充実を図ります。

【4】平成25年度の重点目標

平成25年度入学生は中学校1年生126名、高校1年生339名となりました。

平成24年度の学校評価では、授業内容に関しては一定の評価をいただいておりますが、「生徒ひとり一人の進路実現のために、さらに授業内容の改善に努めること」、そして中学校、高校ともに肯定的な評価の割合が低い「施設・設備が整っている」という項目の改善に向けて「生徒や保護者のみなさんが安心して、安全に、豊かな学校生活を送れるよう施設や設備の大規模な改修に取り組む」ことを平成25年度の重点目標に設定します。

重点目標

- ① 「生徒ひとり一人の進路実現のために、さらに授業内容の改善に努めること」
- ② 「生徒や保護者のみなさんが安心して、安全に、豊かな学校生活を送れるよう施設や設備の大規模な改修に取り組む」

平成 24 年度 初芝富田林中学校高等学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

はじめに

平成 25 年 3 月 22 日（金）午後 1 時 30 分より、初芝富田林中学校高等学校保護者会室において、学校関係者評価委員会が開催され、平成 24 年度の学校評価への取り組み状況やその結果、学校概要について説明がありました。

平成 25 年度の入学予定者数は、中学 1 年生 126 人、高校 1 年生 339 人の合計 465 人となり、中高合わせた募集定員を充足しました。しかし、私学を巡る状況には厳しいものがあり、引き続き募集活動の充実が重要な課題と思われまます。

平成 25 年度に向けて、「生徒ひとり一人の進路実現のために、さらに授業内容の改善に努めること」と「生徒や保護者のみなさんが安心して、安全に、豊かな学校生活を送れるよう施設や設備の改善に取り組む」ことを重点目標に設定すると説明がありました。

1. 平成 24 年度自己評価に関する意見・提言など

① 今年度の重点目標の達成状況について

- ・「授業内容に満足している」とは具体的にどういうことなのか、という質問に対して、「授業内容が自分のレベルに合っているか、良く分かる授業になっているか」を調査したかった、と回答がありました。
- ・「学校行事の充実」について、過去にあった行事「餅つき」が無くなったことに対して、「新しくキャリア教育を充実させるため止むを得ずスクラップした」と説明がありました。行事が 1 つ減ってしまったと誤解していたようです。行事は増えていますが、情報の公開が不十分なように思えるので、ホームページなどをもっと活用して情報発信していただきたい。
- ・「学校からの保護者あて文書」についても、スムーズに届かないのでホームページで確認できるシステムを取り入れていただきたい。

② 昨年度の学校評価と改善状況について

- ・「生徒指導全般について」子どもには「生徒手帳」や「新入生のしおり」などを用いて、折に触れ「生徒心得（校則）」の説明があるが保護者には詳しく伝わっていません。保護者にも「生徒心得（校則）」を文書化したものを配布し、子・親・学校が連携して「生徒指導」に取り組むべきです。
- ・「悩みや困ったことを教職員に気軽に相談できているか」については、思春期なので人に相談できないこともあり評価ポイントが高くなりにくいのではないのでしょうか。しかし、今年度「いじめ」の問題が大きく取り上げられたので「いじめられている子や、それを見た、聞いた子が信頼して相談できる環境づくり」は大切です。
- ・「施設・設備が整っている」の評価が低いことについて、「トイレ老朽化に対す

る不満」が大きい。特に女子生徒や母親にとっては「トイレの美しさ」が学校選択のファクターにもなるので改善していただきたい。この件については、創立 30 周年記念事業の一環として準備に取り掛かっていると回答がありました。

③ その他

- ・「生徒の通学」に関して地域の方から、自転車通学者の進入路出口、一旦停止と高橋手前、点滅信号付近の徐行運転の要望があります。また、スクールバスの運行についても運転マナーの改善が必要です。
- ・中学校選択のファクターとして「生徒や保護者が満足する、きめ細かな学習指導（塾に行かなくても授業と補習で大丈夫）」も大切なのもっと充実してほしい。
- ・教員自己評価アンケートで「ボランティア活動は活発である」の評価ポイントが低い。東日本大震災復興を例にとっても大切な教育活動であるのでぜひ改善していただきたい。

2. 学校関係者評価委員会出席者 8名

- ・元明治池中校長・元太子町教育長
- ・保護者会高校 2 学年委員長
- ・保護者会高校 2 学年副委員長
- ・保護者会中学 2 学年委員長
- ・保護者会中学 2 学年副委員長
- ・校長
- ・副校長
- ・教頭